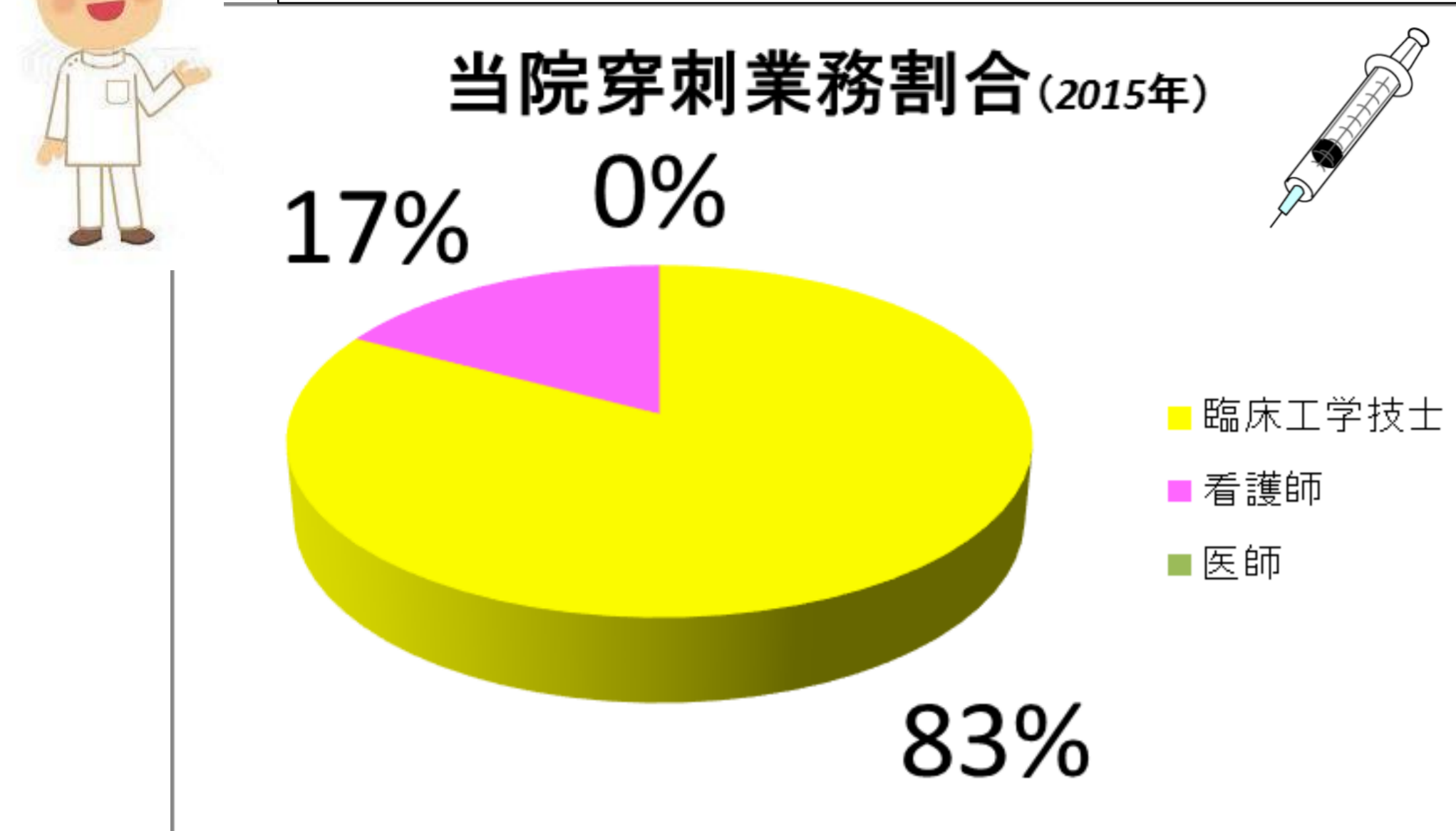




医療法人 心信会
池田バスキュラーアクセス・透析・内科

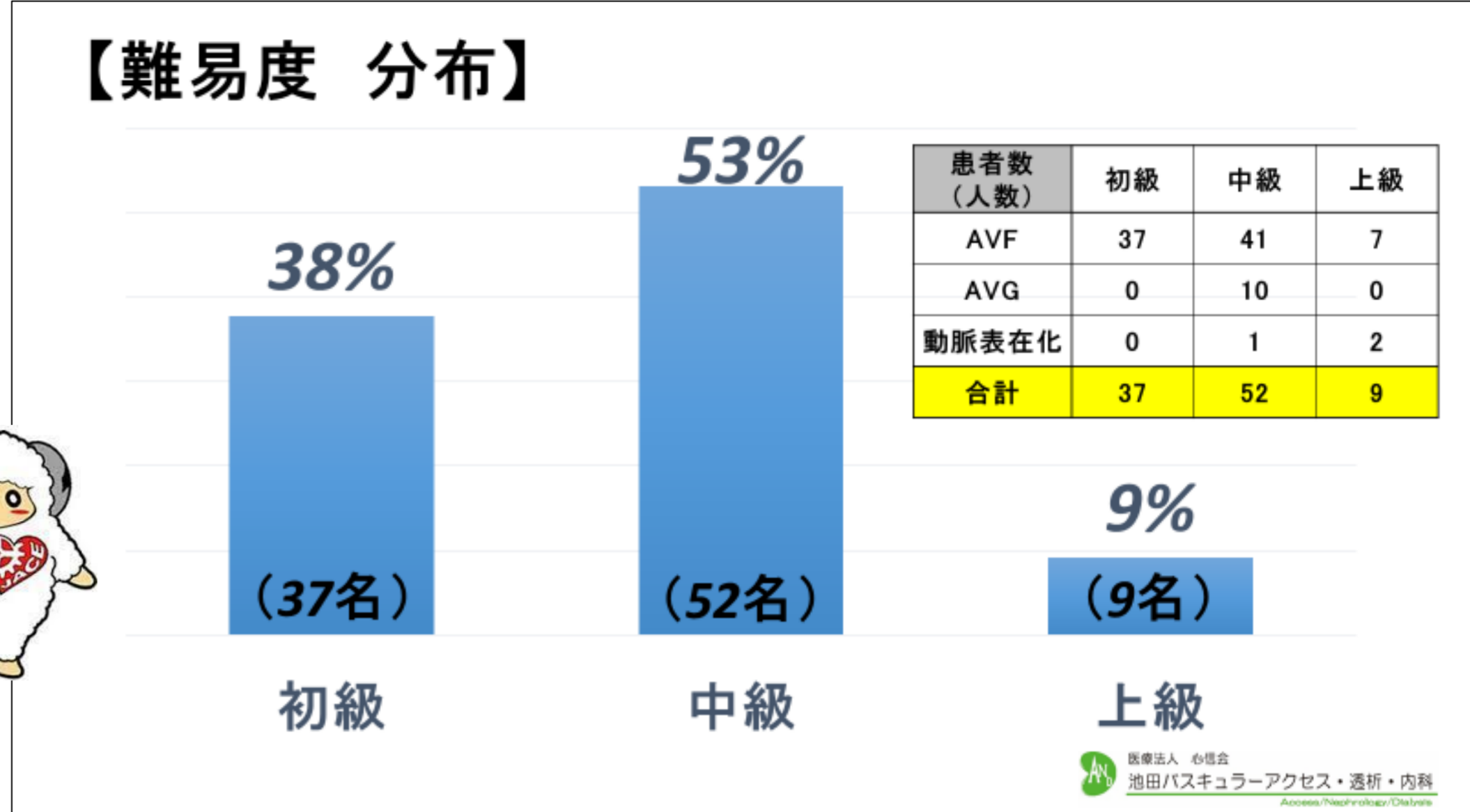
Access/Nephrology/Dialysis

当院での穿刺業務・VA管理は、臨床工学技士がメインの仕事です。



【穿刺難易度 分類】

- #1 臨床工学技士(以下、技士)7名によって、難易度を「初心者が穿刺しても簡単に穿刺できる1点」「やや難しい2点」「非常に難しい3点」の3段階で、評価した。
- #2 採点平均によって各患者を初級、中級、上級に3分類した。
- #3 年に1回見直しを行なっている。



①段階的にレベルアップ

初級からの穿刺を実践
いつを目標に中級へ
短期目標設定

②平行してエコー下穿刺

こんにやく練習
初級からの実践
穿刺困難症例への挑戦

③フィードバック

個人の現状把握
課題の発見
新たな目標設定

穿刺業務開始から6か月で
穿刺困難症例への穿刺を
行いました。

エコー下穿刺～こんにやく練習～



当院での教育実施例

穿刺難易度を分類して目標を立てやすくしましょう！

＜初級＞	＜中級＞	＜上級＞
<p>#1 誰でも容易に穿刺ができる</p>	<p>#1 初級に慣れてから穿刺したほうが良い #2 血管に癖があり穿刺に少しコツが必要 #3 血管は触知できるがやや深い #4 血管は触知できるがやや細い</p>	<p>#1 穿刺困難 #2 一部のスタッフしか穿刺できない #3 血管が細く穿刺技術が必要 #4 血管は太いが触知できず深い #5 エコー下穿刺が必要</p>

ブラインド穿刺もエコー下穿刺も段階的にレベルアップが必要！

<p>＜肘部＞ 血管径:8.32mm 血管までの深さ:1.6mm 誰でも刺せる血管</p> <p>当院のエコー装置一覧 エコー下穿刺での使用装置 (透析室) VAエコーでの使用装置 (外来)</p>	<p>＜上腕＞ 血管径:4.08mm 血管までの深さ:1.7mm 血管は太いが、血管壁がやや硬くわかりづらい</p> <p>＜上腕＞ 血管径:2.8mm 血管までの深さ:2.5mm 血管は触知できるがやや細い</p>	<p>＜上腕＞ 血管径:3.8mm 血管までの深さ:7.0～9.0mm 血管は太いが、その倍以上深い</p> <p>＜前腕側副＞ 血管径:1.8mm 血管までの深さ:2.0～2.7mm 血管細く、触知しづらい</p>
---	--	--

手順

STEP1 ～状態確認～

- ①まずは診・聴・触
- ②広範囲へ多めに消毒
- ③長軸と短軸を使ってしっかり観察！

STEP2 ～穿刺～

- ④短軸で血管を中央に位置。針をプローブの中央から血管に向けて穿刺
- ⑤針が血管へ当たると血管壁の弾力で凹む
- ⑥針を進め、血管の中心に針先を位置。血管内に針が到達すると逆血を認める。
- ⑦その後、針先が消えるまでプローブを動かす。
- ⑧再びエコー画面上の血管内に針先が到達するまで針を進める。
- ⑨針先確認し完了

※1:⑦と⑧を繰り返しながら針を進めていく。 ※2:プローブよりも針を先に進めると血管を損傷するので注意！